

## 地球をぶらり 2022 (オンライン)

日時：2022年10月22日(土) 14:00-16:10

主催：NPO 法人日本地学オリンピック日本委員会

後援：日本地学教育学会、アースサイエンスウィーク・ジャパン

費用：無料

申込み：10月19日(水) 17:00まで。先着200名。

### 内容

14:00-14:05 小川理事長 挨拶

14:05-15:05

#### 地層と岩石の調査から探る日本列島の形成

皆さんは崖や海岸に出ている地層や岩石を見たとき「シマシマだなあ、硬そうだなあ」と思うだけかもしれません。しかし、専門的な知識と考え方を身につけた研究者が調査すると、地層や岩石から実に多くの情報を読み取ることができます。私は学生時代に「日本列島はどのようにしてできたか」という問いに興味を持ち、地質学の研究者になり、これまで全国各地の地層・岩石を調査することによってその問いについて探ってきました。今回は、専門的な考え方のわかりやすい例を皆さんに紹介するとともに、日本列島のダイナミックな形成過程についてお話ししたいと思います。

講師 愛知教育大学教授 星 博幸 氏

15:05-16:05

#### 知的好奇心を満足させる博物館 -標本を見て、触って、考える愉しみ！-

日本を含めて世界の自然系の博物館には、地学や生物の標本がたくさん展示されているのはご存知の通りです。それらの標本を知的好奇心をもって見ることで、新たな知識が増え、新たな疑問が沸いてきます。博物館の標本は展示室にあるものはごく一部で、収蔵庫に膨大な量の標本が保管されています。標本は、ある地域のある時代の自然の証拠物ですが、様々な事情で二度と集められないものもあります。標本として保存・保管されているからこそ、学問の新展開や科学技術の進歩により、新たな発見につながることもあります。知的好奇心を持って、標本を見て、触って、考えることから、新しいアイデアが生まれます。今回は、博物館とは何か、そして博物館での地学の楽しみ方について、私の40年にわたる博物館勤めの経験を基にお話しします。

講師 神奈川県立生命の星・地球博物館 館長 平田 大二 氏

16:05-16:10 終わりの挨拶(澤口事務局長)

\*NPO 法人日本地学オリンピック日本委員会のHPよりお申込みください。

申し込みの受け付けメールが自動返信されますが、自動返信が届かなかった方やお問い合わせは担当の瀧上 ([burari@esolympiad.jp](mailto:burari@esolympiad.jp)) までご連絡ください。

\*オンラインはZoomを利用して開催いたします。

IDとパスワードは10月14日(金)以降前日までにメール([burari@esolympiad.jp](mailto:burari@esolympiad.jp)より発信)でご連絡いたします。

\*皆様の情報は「地球をぶらり」を含む地学オリンピック日本委員会の活動案内のみに使用いたします。

\*アースサイエンスウィーク・ジャパン (<https://www.earthsciweekjp.org/>)